

令和2年度 年間授業計画&シラバス

東京都立足立高等学校定時制課程

対象学年	教科・科目名	担当者名
1 学年 (普通科・商業科)	公民科 現代社会	志賀・川上
使用教科書	出版社：実教出版 教科書名：最新現代社会 新訂版 (7実教・現社315)	
指導のねらい 単位数 2 単位	人間の尊重と科学的な探究の精神に基づいて、広い視野に立って、現代の社会と人間についての理解を深めさせ、現代社会の基本的な問題について主体的に考察し公正に判断するとともに自ら人間としての在り方生き方について考察する力の基礎を養い、良識ある公民として必要な能力と態度を育てる。	
使用教材・授業形態	教科書・プリント・ICT教材・板書を使用した一斉授業と協働学習	
学期・授業時数	単元名	
1 学期 2 4 時間	わたしたちの生きる社会 (地球環境問題、資源・エネルギー問題、生命科学と情報技術の課題) 青年期の自己形成 (自分らしく生きる、人間としてよく生きる、日本人としての自覚)	
2 学期 2 6 時間	現代の民主政治と日本国憲法 (現代国家と民主政治、日本国憲法の基本的性格、日本の政治機構と政治参加) 現代の経済社会と国民生活 (現代の経済社会、日本経済の特質と国民生活)	
3 学期 2 0 時間	国際社会と人類の課題 (国際政治の動向、国際経済の動向と国際協力)	
学習内容	現代社会における諸課題を扱う中で、社会の在り方を考察する基盤として、幸福、正義、公正などについて理解させるとともに、現代社会に対する関心を高め、いかに生きるかを主体的に考察することの大切さを自覚させる。 現代社会について、倫理、社会、文化、政治、法、経済、国際社会など多様な角度から理解させるとともに、自己とのかかわりに着目して、現代社会に生きる人間としての在り方生き方について考察させる。 持続可能な社会の形成に参画するという観点から課題を探究する活動を通して、現代社会に対する理解を深めさせるとともに、現代に生きる人間としての在り方生き方について考察を深めさせる。なお、外国籍クラス(川上)は理解度に応じた進度をとる。	
評価の観点と方法	授業の取り組み状況と授業中に実施する学習到達度テストの結果をもとに評価・評定を行う。	

令和2年度 年間授業計画&シラバス

東京都立足立高等学校定時制課程

対象学年	教科・科目名	担当者名
4 学年 (普通科)	公民科 政治・経済	中尾
使用教科書	出版社：実教出版 教科書名：最新 政治・経済 新訂版 (7 実教政経 313)	
指導のねらい 単位数 2 単位	現代の経済、現代の政治、現代社会の諸問題について、理解を深め、考察できる能力を養う。	
使用教材・授業形態	教科書・視聴覚教材・ICT教材・授業プリント・板書を中心とした一斉授業	
学期・授業時数	単元名	
1 学期 2 4 時間	現代の経済 現代経済のしくみ 現代の日本経済の諸問題 国際経済と日本現代の政治	
2 学期 2 6 時間	民主政治の成立過程 日本国憲法と基本的人権 日本の政治制度と政治参加 日本の平和主義と国際社会	
3 学期 6 時間	現代社会の諸課題	
学習内容	現代の日本経済が抱える諸問題を理解させ、生徒自身の考察力を養成する。 民主政治の成立過程を理解し、日本における基本的人権の在り方を理解する。 主権者教育の観点から政治参加と選挙の有する意味を考えさせる。 日本の平和主義を安全保障の諸問題とともに理解させる。 現代社会の諸問題について認識を深める。	
評価の観点と方法	授業の取り組み状況とプリントの提出状況および定期考査における学習到達度をもとに、平常点と考査得点を一定の割合で評価する。出席状況と授業態度は、平常点で大きなウェイトを占める。	

令和2年度 年間授業計画&シラバス

東京都立足立高等学校定時制課程

対象学年	教科・科目名	担当者名
4 学年 (普通科・商業科)	公民科 現代社会 (選択)	川上
使用教科書	出版社：実教出版 教科書名：最新現代社会 新訂版 (7実教・現社315)	
指導のねらい 単位数 2 単位	人間の尊重と科学的な探究の精神に基づいて、広い視野に立って、現代の社会と人間についての理解を深めさせ、現代社会の基本的な問題について主体的に考察し公正に判断するとともに自ら人間としての在り方生き方について考察する力の基礎を養い、良識ある公民として必要な能力と態度を育てる。	
使用教材・授業形態	教科書・プリント・ICT教材・板書を使用した一斉授業と協働学習	
学期・授業時数	単元名	
1 学期 2 4 時間	現代の民主政治と日本国憲法 (現代国家と民主政治、日本国憲法の基本的性格、日本の政治機構と政治参加)	
2 学期 2 6 時間	現代の経済社会と国民生活 (現代の経済社会、日本経済の特質と国民生活) 国際社会と人類の課題 (国際政治の動向、国際経済の動向と国際協力)	
3 学期 6 時間	君は現代社会をどう生きるか (自分らしく生きる、人間としてよく生きる、日本人としての自覚)	
学習内容	現代社会における諸課題を扱う中で、社会の在り方を考察する基盤として、幸福、正義、公正などについて理解させるとともに、現代社会に対する関心を高め、いかに生きるかを主体的に考察することの大切さを自覚させる。 現代社会について、倫理、社会、文化、政治、法、経済、国際社会など多様な角度から理解させるとともに、自己とのかかわりに着目して、現代社会に生きる人間としての在り方生き方について考察させる。 持続可能な社会の形成に参画するという観点から課題を探究する活動を通して、現代社会に対する理解を深めさせるとともに、現代に生きる人間としての在り方生き方について考察を深めさせる。	
評価の観点と方法	授業の取り組み状況と授業中に実施する学習到達度テストをもとに評定を行う。	